

青少年健全育成茨城県推進大会

青少年を健全に育成するためには、親や大人が姿勢を正し、家庭や地域社会での教育力を高める必要があります。

また、地域コミュニティの中では、家庭の親や地域の大人一人ひとりが自分のできることを通して子どもの育ちに関わることが大切です。

このため、本県では、「親が変われば、子どもも変わる」運動と地域親の普及啓発を車の両輪として推進しています。また、本年度は新たに「あいさつ、声かけ運動」を強く進めています。



主催者あいさつをする橋本昌茨城県知事

青少年育成関係者や子どもの育成に関心のある県民の方々、約1,900人の参加のもとで開催した本年度の大会は、中学生の主張発表や「親が変われば、子どもも変わる」運動・地域親活動の実践発表、講演会などを通して、親や大人の生き方や家庭のあり方、地域での子どもの関わり方を考え、参加者一同、青少年の育成に向けて一層の理解を深めるとともに、今後の活動の大切さを改めて認識し、育成活動をさらに充実、発展させることを確認できた大会となりました。



所功雄県民会議会長あいさつ

《大会概要》

主催 茨城県

社団法人青少年育成茨城県民会議
青少年育成市町村民会議

日時 平成17年2月8日(火)10:00~15:30

場所 茨城県立県民文化センター大ホール

参加者 青少年育成関係者 PTA・学校関係者
青少年地域活動団体 県・市町村関係者
子どもの育成に関心のある県民の方

内容 ●中学生の主張発表
●実践活動発表
●茨城県青年の船事業報告
●講演



1900人の参加で満席の県民文化センター大ホール

中学生の主張発表

平成16年度少年の主張茨城県大会において、県知事賞、県議会議長賞、県教育委員会教育長賞を受賞された3人が発表しました。

「羽ばたけ世界に」

磯部 亮太 (水戸市立千波中学校3年)

「光を導く明るいあいさつ」

服部 操 (那珂市立第二中学校1年)

「本当の平和とは」

龍道美紗希 (関城町立関城中学校3年)



「明るいあいさつ」について発表する那珂二中の服部操さん